

[Q16] あなたは、それぞれの交通機関について、今後、特にどの交通機関を重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思いますか。  
 あてはまるものを3つ(必須)教えてください。(複数回答)

公共交通機関では、旅客施設の新設・改良時や車両等の新規導入に際し、バリアフリー法に基づき、エレベーター、障害者用トイレ等の設置等や車いすスペースの確保等のバリアフリー化が義務づけられており、既存の施設等についてもバリアフリー化に努めることとされています。

- ◆ 全体では、「鉄軌道駅」が65.6%と、他の公共交通機関に10ポイント以上の差をつけて最も高く、以下、「バス」(50.3%)、「鉄軌道車両」(47.8%)が5割前後で続く。
- ◆ 年代別にみると、70代では「鉄軌道駅」(70.6%)、「バスターミナル」(51.1%)、「タクシー乗り場」(35.3%)の割合が、他の年代と比べて高い。
- ◆ 性年代別にみると、男女ともに年代が低くなるほど「航空機」の割合が高くなる傾向がみられ、女性15～19歳では、31.3%にのぼる。

